

事 務 連 絡

令和 4 年 10 月 24 日

岩手県薬物乱用対策推進本部員 各位

(学事振興課 扱い)

岩手県保健福祉部健康国保課

麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動盛岡大会の開催に係るポスター等の送付
について

本県における薬務行政の推進につきましては、平素より格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、麻薬・覚醒剤等薬物乱用の事犯は依然として跡を絶たず、その弊害は、乱用者個人の健康上の問題にとどまらず、乱用者の引き起こす犯罪等が大きな社会問題となっております。

このような状況を踏まえ、薬物乱用防止に関する啓発活動を強力に推進するため、「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動盛岡大会」をオンライン開催し、県民一人一人に麻薬・覚醒剤等の乱用による弊害を認識していただき、乱用撲滅に対する積極的な取組みを図ることといたしました。

つきましては、下記のとおりポスター等を送付しますので、本大会の趣旨を御理解いただき、周知及びポスターの掲示等につきまして、特段の御配慮をお願いします。

記

ポスター 1 枚

リーフレット 2 枚

健康国保課薬務担当 築田
TEL 019-629-5467 FAX 019-629-5474
E-mail yakumu@pref.iwate.lg.jp

麻薬・覚醒剤・大麻 乱用防止

乱用根絶の
機運を高める
岩手県での大会を
オンラインで
配信します。

運動

盛岡大会



(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

オンライン
配信期間

令和4年

11月10日[木]正午▶11月30日[水] 23時59分

※オンライン視聴のみ。イベントそのものは非公開となります。



【特別講演】

演題：さらば、哀しみのドラッグ
— 夜回り先生、いのちの講演 —

講師：水谷 修氏

大会サイトはこちら!期間中は視聴できます!

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/yakumu/yakubutsu/1059411.html>



【主催】厚生労働省、岩手県 【共催】IBC岩手放送

【後援】岩手県教育委員会、盛岡市、盛岡市教育委員会、岩手県警察本部、(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター、岩手県PTA連合会、岩手県高等学校PTA連合会、(一社) 岩手県医師会、(一社) 岩手県歯科医師会、(一社) 岩手県薬剤師会、岩手県医薬品登録販売者協会、岩手県医薬品卸業協会、岩手県医薬品配置協議会、ライオンズクラブ国際協会332-B地区、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、岩手日日新聞社、デーリー東北新聞社、(一社) 共同通信社盛岡支局、時事通信社盛岡支局、盛岡タイムス社、NHK盛岡放送局、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

麻薬・覚醒剤・大麻 乱用防止運動 盛岡大会

【オンライン
配信期間】 令和4年 11月10日[木] 正午 ▶ 11月30日[水] 23時59分

※オンライン視聴のみ。イベントそのものは非公開となります。

【大会次第】

開会の辞

あいさつ

厚生労働大臣感謝状等の贈呈

アトラクション

LIPS DANCE SCHOOL (10分)

薬物問題について

厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課 (5分)

特別講演

演題：さらば、哀しみのドラッグ

— 夜回り先生、いのちの講演 — 講師：水谷修 (60分)

大会宣言

LIPS DANCE SCHOOL (5分)

閉会の辞

*上記時間は想定です。それぞれの時間は変更になる可能性があります。



LIPS DANCE SCHOOL

2016年に盛岡市を拠点として発足した総合型ダンススクール。県内のダンススクールではトップクラスのジャンルとクラス数を誇り、2019年には

全国大会で2チームが各優勝、NBA LA Clippersホームゲームでのダンスパフォーマンスチーム日本代表メンバーに選出、更に中国政府交流会 日本代表チームに選出。2021年は釜石鵜住居復興スタジアムにて開催された《いわて・かまいしラグビーメモリアルマッチ》で歌手の平原綾香さんとコラボパフォーマンス。チア、JazzFunk、K-Popダンス、Hip Hopなど多種多様なジャンルのパフォーマンスと、可愛いくちびるがトレードマークのダンスチームです。



水谷 修氏

【水谷 修氏 略歴】

1956年、横浜に生まれる。少年期を山形にて過ごす。上智大学文学部哲学科卒業。横浜市にて、長く高校教員として勤務。12年間で定時制高校で過ごす。教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行なっている。また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各地からのメールや電話による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。その現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。現在、上智大学講師。